



[HP Engage Console]ユーザー ガイド

概要

[HP Engage Console]は、企業設定内のデバイスにアプリケーションをプッシュしたり、設定を構成したりします。

法的情報

© Copyright 2020 HP Development Company, L.P.

Apple および Apple のロゴは、米国およびその他の国における Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。macOS は、Apple Computer, Inc. の商標です。

Bluetooth は、その所有者が所有する登録商標であり、使用許諾に基づいて HP Inc. が使用しています。

© 2020 Google LLC All rights reserved. Google および Android は、Google LLC の登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェア資料、および商業用製品の技術データは、ベンダー標準の商業用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2020年7月

製品番号：M03762-291

目次

1 お使いになる前に.....	1
管理者および役割.....	1
新しい管理者の追加.....	1
新しいロールの作成.....	1
管理者のロールの変更.....	2
2 段階認証.....	2
電子メールを使用した 2 段階認証の有効化.....	2
Google 認証システムを使用した 2 段階認証の有効化.....	3
2 デバイスおよびユーザーの登録.....	4
ユーザーの登録.....	4
QR コードを使用した Android デバイスの登録.....	4
Windows デバイスの登録.....	5
構成ファイルを使用したデバイスの登録.....	5
3 デバイス.....	6
デバイス情報.....	6
デバイスレベルの操作.....	6
4 [デバイス管理]オプション.....	8
ブランディング.....	8
ブランドの作成.....	8
ブランディングからの発行.....	8
デバイス プロファイル.....	9
企業所有の Android デバイス用の新しいプロファイルの作成.....	9
ユーザー所有の Android デバイス向けの新しいプロファイルの作成.....	10
新しい Windows デバイス プロファイルの作成.....	11
デバイスグループ.....	12
デバイスグループの作成.....	13
デバイスグループの操作.....	13
Web サイトのホワイトリスト化.....	13
5 コンテンツ管理.....	15
ダッシュボードへのコンテンツのアップロード.....	15
プレゼンテーションの作成.....	15
6 Remote Cast & Control.....	17
Android デバイス向けの[Remote Cast & Control]の設定.....	17
Android デバイスに対する[Remote Cast & Control]の開始.....	17
Windows デバイス向けの[Remote Cast & Control]の設定.....	18

Windows デバイス向けの[Remote Cast & Control]セッションの開始	19
7 Eva Communication Suite	20
デバイス間チャットの有効化.....	20
[Eva Phone]の有効化.....	20
連絡先の追加およびアップロード.....	20
ダッシュボードからデバイスへのファイルの送信.....	21
デバイスからダッシュボードへのファイルの送信.....	22
Eva Channels.....	22
パブリックチャンネルの作成.....	22
クローズチャンネルの作成.....	23
8 エンタープライズ.....	24
マイアプリケーション.....	24
エンタープライズストア	24
Android アプリのアップロード	24
iOS アプリのアップロード	24
Windows アプリケーションのアップロード	25
推奨アプリケーション.....	25
パスワードポリシーの作成.....	26
パスワードポリシーの削除.....	27
セキュリティ インシデント.....	27
セキュリティ設定.....	28
9 ユーティリティ	29
APN 設定.....	29
非アクティブ状態のデバイスのナッジング.....	29
ブロードキャスト メッセージ.....	29
デバイスへのアラーム送信.....	29
デバイスへの Wi-Fi 設定の発行	30
ダッシュボードからの Android デバイスのロックおよびロック解除.....	30
10 Android ユーティリティ	31
グローバル設定.....	31
アプリ データのクリア.....	32
11 電子メール ユーティリティ	33
電子メールの送受信設定の作成.....	33
電子メールの送受信構成の発行.....	33
12 ワークフロー.....	34
新しいワークフローの作成.....	34
デバイスレポートのワークフローの作成.....	34
既存のワークフローの管理.....	35

1 お使いになる前に

[HP Engage Console]を使用すると、デバイスの設定および管理をリモートで行えます。たとえば、Android®オペレーティングシステムを実行している[HP Retail Point of Sale]デバイスを管理できます。また、このクラウドベースのソフトウェアを使用して、Android、iOS、macOS®、およびWindows® 10オペレーティングシステム（OS）を実行しているデバイスの構成および管理も行えます。


管理者および役割

新しい管理者の追加、既存管理者の管理、または管理者のロールおよびサインイン設定の変更を行うには、[Admins and Roles]（管理者およびロール）セクションを使用します。

新しい管理者の追加


新しい管理者を追加するには、以下の操作を行います。

1. [Admins and Roles]（管理者およびロール）に移動します。
2. [Administrators]（管理者）を選択します。
3. [Add New Admin]（新しい管理者の追加）を選択します。
4. 管理者の名前および電子メールを入力して、そのユーザーにロールを割り当てます。
5. [Submit]（送信）を選択します。管理者ウィンドウにユーザー名が表示され、ユーザーには確認用の電子メールが送信されます。

 **注記：** 確認用の電子メールを再送する必要がある場合は、管理者の一覧にある電子メールアイコンを選択します。

新しいロールの作成

カスタムロールを作成するには、以下の操作を行います。

1. [Admins and Roles]（管理およびロール）ページにアクセスして、[Roles & Permissions]（ロールおよび権限）タブを選択します。
2. [CUSTOM ROLES]（カスタムロール）セクションで、[CREATE NEW]（新規作成）を選択します。
3.  **注記：** すべてのアクセス権または読み取り専用権限を持つ、任意の機能を割り当てることができます。

新しいページが表示され、ロール名の入力、すべてのデバイスまたはデバイスグループに対してロールを作成するかどうかの選択、および以下の権限の設定が行えます。

- [VISIBILITY]（可視化）：ダッシュボードの特定の機能を表示または非表示にするには、このボタンのオン/オフを切り替えます。
- [ALL ACCESS]（すべてのアクセス権）：読み取りおよび書き込みの両権限を管理者に与えます。

- **[READ ONLY]** (読み取り専用) : 読み取り専用権限を管理者に与えます。
4. **[SAVE ROLE]** (ロールの保存) を選択します。カスタムロールが、**[CUSTOM ROLES]** (カスタムロール) セクションの下に表示されます。

管理者のロールの変更

管理者ロールを変更するには、以下の操作を行います。

1. **[Administrators]** (管理者) タブを選択し、既存管理者の手前にある歯車のアイコンを選択します。**[Edit]** (編集) を選択します。
2. **[Edit Admin User]** (管理者ユーザーの編集) ウィンドウが表示されたら、**[Role]** (ロール) セクションに移動し、ドロップダウンメニューからロールを選択します。
3. **[Submit]** (送信) を選択します。

2 段階認証

2 段階認証を使用すると、[HP Engage Console]ダッシュボードへのログインにセキュリティのレイヤーを追加できます。2 段階認証は、所有者アカウントおよび共同所有者アカウントだけが有効にできます。

[HP Engage Console]は、以下の 2 種類の 2 段階認証をサポートします。

- **[Email-based two-step verification]** (電子メールベースの 2 段階認証) : 管理者の電子メールアドレスにワンタイムパスワードが送信され、ログインを完了するにはそれを入力する必要があります。
- **[Google Authenticator two-step verification]** (Google 認証システムによる 2 段階認証) : Google 認証システム アプリによってコードが生成され、ログインを完了するにはそれを入力する必要があります。


どちらかの種類の 2 段階認証が有効になっている場合、所有者、共同所有者、または管理者に指定されているすべてのアカウントは、指定された 2 段階認証方法を使用してログインする必要があります。

電子メールを使用した 2 段階認証の有効化

電子メールを使用した 2 段階認証を有効にするには、以下の操作を行います。

1. [HP Engage Console]にサインインします。
2. **[Admins and Roles]** (管理者およびロール) に移動します。
3. **[Sign In Settings]** (サインイン設定) タブを選択します。
4. **[Enable 2-Step Verification]** (2 段階認証の有効化) を選択します。初期設定では、電子メールオプションが選択されています。
5. **[SAVE]** (保存) を選択します。**[Confirm password to continue]** (パスワードを確認して続行) ウィンドウが表示されます。


6. パスワードを入力して、[SUBMIT] (送信) を選択します。[Two-step Verification Enabled] (2 段階認証有効化済み) セクションが開き、2 段階認証が正常に有効になったあと、通知ウィンドウが表示されます。

 **注記：** 2 段階認証を有効にしても、自身や他のユーザーがセッションからサインアウトされることはありませんが、次回のログイン試行時には 2 段階認証が有効になります。

Google 認証システムを使用した 2 段階認証の有効化

Google 認証システムを使用した 2 段階認証を有効にするには、以下の操作を行います。

1. [HP Engage Console] にサインインします。
2. [Admins and Roles] (管理者およびロール) を選択し、[Sign In Settings] (サインイン設定) タブを選択します。
3. [Enable 2-Step Verification] (2 段階認証の有効化) ボタンを選択し、[Google Authenticator] (Google 認証システム) を選択します。
4. [SAVE] (保存) を選択します。[Confirm password to continue] (パスワードを確認して続行) ウィンドウが表示されます。
5. パスワードを入力して、[SUBMIT] (送信) を選択します。
6. 表示される説明に沿って操作し、Google 認証に登録します。
 - a. ダッシュボードに QR コードが表示されます。お使いのスマートフォンに Google 認証システムアプリをダウンロードしてインストールし、アプリを起動します。
 - b. デバイスのカメラを起動するには、[Scan barcode] (バーコードのスキャン) を選択します。
 - c. ダッシュボードに表示された QR コードに、デバイスのカメラを向けます。お使いの認証システムアプリにアカウントが追加され、バックアップコードとともに成功メッセージがダッシュボードに表示されます。

 **注記：** HP では、デバイスの紛失や交換に備え、バックアップコードをダウンロードして保存することを推奨しています。

7. [DONE] (完了) を選択します。Google 認証システムを使用した 2 段階認証は、[HP Engage Console] ダッシュボードの自分用および管理者用アカウントに対して有効です。

2 デバイスおよびユーザーの登録

デバイスおよびユーザーの登録は、ソフトウェアから直接、または QR コードを使用して実行できます。

ユーザーの登録


新しいユーザーを追加するには、以下の操作を行います。

1. **[Device & User Enrollment]** (デバイスおよびユーザーの登録) で、**[User Management]** (ユーザー管理) を選択します。
2. **[Add User]** (ユーザーの追加) を選択します。
3. ユーザー用にユーザー名を作成し、ユーザーの電子メールまたは電話番号を入力してから、そのユーザーに割り当てるデバイスの数を選択します。
4. **[Add]** (追加) を選択して、ユーザーを追加します。

QR コードを使用した Android デバイスの登録

Android デバイスの登録に使用できる QR コードを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[Device & User Enrollment]** (デバイスおよびユーザーの登録) で、**[QR Code]** (QR コード) を選択します。
2. **[Create]** (作成) を選択します。**[Create Device Enrollment Configuration]** (デバイス登録設定の作成) ウィンドウが表示されます。
3. **[Basic]** (基本) タブで、QR コード識別用の名前を入力します。
4. 登録の種類を選択します。
 - **[Kiosk/Agent]** (キオスク/エージェント) : 企業所有のデバイス向けです。
 - **[Personal (BYOD)]** (個人所有 (BYOD)) : ユーザー所有のデバイス向けです。
5. デバイスの命名オプションを入力します。
6. **[Next]** を選択します。**[グループ/プロファイル]** タブが表示されます。
7. 各プラットフォーム用のユーザーグループまたはデバイスプロファイルを選択してから、**[Next]** を選択します。
8. **[License]** (ライセンス) タブが表示されたら、デバイスのライセンスを必要に応じて選択します。

 **注記:** この手順は省略可能です。

9. **[Save]** (保存) を選択すると、QR コードが作成されます。一覧に QR コードが表示されます。
10. 一覧から **[Android]** ボタンを選択します。

11. QR コードを表示するには、**[Show Android QR]** (Android の QR コードの表示) を選択します。
12. 以下の操作を実行できます。
 - **[Download]** (ダウンロード) : デバイス登録用の SD カードにコピーできる構成ファイルをダウンロードします。
 - **[Email]** (電子メール) : お使いのアカウントの電子メールに QR コードを送信します。
 - **[Edit]** (編集) : QR コード構成を編集します。編集しても、すでに登録されているデバイスは影響されません。
 - **[Deactivate]** (無効化) : 現在の QR コード構成を無効にします。
 - **[Rotate]** (入れ替え) : 新しい QR コードと URL を生成し、以前の QR コードと URL を無効にします。現在の QR コード構成が侵害されていると考えられる場合に使用します。

Windows デバイスの登録


Windows デバイスを登録するには、以下の操作を行います。

1. **[Device & User Enrollment]** (デバイスおよびユーザーの登録) で、**[QR Code]** (QR コード) を選択します。
2. 必要なデバイスの登録の構成を検索し、選択します。
3. **[Windows 10]** ボタンを選択します。
4. **[SHOW ENROLLMENT URL]** (登録 URL の表示) を選択し、画面の説明に沿って操作します。


構成ファイルを使用したデバイスの登録

構成ファイルを使用してデバイスを登録するには、以下の操作を行います。

1. **[Device & User Enrollment]** (デバイスおよびユーザーの登録) → **[QR Code]** (QR コード) の順に選択します。
2. 使用する構成方法を選択します。
3. ダウンロード アイコンを選択します。
4. config.mlp ファイルをローカルコンピューターに保存してから、対象デバイスの `/`、`/sdcard/`、または `/Downloads/` フォルダ内の場所にコピーします。
5. **[HP Engage Console]** クライアントを起動して、**[Other Enrollment Options]** (その他の登録オプション) を選択します。次に、**[Auto Enroll]** (自動登録) オプションを選択します。

 **注記 :** 各デバイスのストレージにファイルをコピーする必要があります。

6. Windows デバイスを登録するには、**[SHOW ENROLLMENT URL]** (登録 URL の表示) を選択します。**[Enrollment URL]** (登録 URL) ウィンドウには、デバイスを登録するために必要な URL および登録コードが表示されます。画面の説明に沿って操作して、ターゲットデバイスを登録します。

 **注記 :** ブラウザーの要件を確認します。

3 デバイス

[Device] (デバイス) タブを使用すると、登録済みデバイスのデバイスレベルで詳細情報を確認したり、操作を実行したりできます。

デバイス情報

このセクションでは、個々のデバイスの詳しい情報を表示する方法について説明します。

1. [Devices] (デバイス) タブを選択して、登録済みのデバイスの一覧を表示します。
2. 情報を確認するデバイスを検索してから、[View Details] (詳細の表示) を選択します。
3. 以下の情報を含むデバイス固有のページが表示されます。
 - [Name and last seen] (名前および前回確認) : デバイスの名前、および前回デバイスがアクティブだったときを示します。[HP Engage Console]では、デバイスに ping を 5 分ごとに送信し、デバイスがアクティブであるかどうかを判定します。
 - [Inactive alert] (非アクティブ状態警告) : デバイスが非アクティブ状態の場合は、情報ページの上部に非アクティブ状態警告メッセージが表示されます。この警告が表示されるかどうかは、[Reports and Alerts] (レポートおよび警告) の [Alerts] (警告) セクションで設定した非アクティブ状態の長さ、および[HP Engage Console]が 5 分ごとにデバイスに送信する ping に対するデバイスの応答によって異なります。
 - [Management removed alert] (管理解除警告) : デバイスから管理が解除された場合は、情報ページの上部に警告が表示されます。
 - [Basic device information] (基本デバイス情報) : デバイスグループ名、バッテリーレベル、Wi-Fi 状態など、その他のデバイス情報がここに表示されます。
4. デバイスに関するその他の詳細情報を表示するには、歯車のアイコンを選択してから、[Full Device Information] (デバイスのすべての情報) を選択します。

デバイスレベルの操作

このセクションでは、[Devices] (デバイス) タブで使用できるデバイスレベルの操作について説明します。

1. [Devices]タブを選択します。
2. 操作するデバイスを探し、[View Details] (詳細の表示) を選択します。
3. 歯車のアイコンを選択して、以下のオプションにアクセスします。
 - [Lock/Unlock] (ロック/ロック解除) : このオプションは、Android デバイスにのみ適用されません。[Lock] (ロック) オプションを使用すると、デバイスプロファイルがデバイスに適用されます。[Unlock] (アンロック) オプションを使用すると、デバイスユーザーはデバイスプロファイルポリシーが適用されていない状態でデバイスを使用できます。選択が完了したら、ページを更新して、選択したオプションが有効になっていることを確認します。

- **[Refresh Device]** (デバイスの更新) : このオプションを選択すると、デバイスプロファイルに対して行った変更がデバイスに適用されます。このオプションは、デバイスプロファイルに対して行った変更が適用されていない場合に使用します。このオプションは、デバイスがロックされている場合にのみ使用できます。
- **[Add Notes]** (メモの追加) : このオプションを使用すると、**[Full Device Information]** (デバイスのすべての情報) ページに表示されるカスタム メモを作成できます。
- **[Factory Reset Device]** (デバイスの工場出荷時設定の復元) : デバイスを工場出荷時の設定にリセットします。このオプションは、会社のデバイスとして登録されているすべてのデバイスで動作しますが、ユーザーが登録したデバイスに対しては使用できません。
- **[Delete Device]** (デバイスの削除) : このオプションを選択すると、デバイスの管理が停止され、デバイスは完全に削除されます。今後このデバイスを管理する場合は、**[HP Engage Console]**に再登録する必要があります。
- **[Change Device Name]** (デバイス名の変更) : このオプションを選択すると、デバイスの名前を変更できます。
- **[Clear Browser Cache]** (ブラウザ キャッシュのクリア) : 選択されているデバイスのブラウザ キャッシュをクリアします。
- **[Nudge Device]** (デバイスのナッジ) : このオプションを使用すると、非アクティブなデバイスに対して ping を実行できます。
- **[Send Message]** (メッセージの送信) : このオプションを使用すると、デバイスにメッセージを送信できます。
- **[Add to Device Group]** (デバイスグループに追加) : このオプションを使用すると、以前に作成したデバイスグループにデバイスを追加できます。

4 [デバイス管理]オプション

[Device Management] (デバイス管理) オプションを使用すると、デバイス プロファイルおよびデバイスグループを作成できます。

ブランディング

ブランディングを行うと、デバイスのプロファイルおよびグループに適用できる、カスタマイズした機能セットを作成できます。ブランディングでは、ロック画面の壁紙、ロック画面メッセージ、およびホーム画面の壁紙をカスタマイズできます。ブランディングは、デバイスのグループまたはプロファイルのみに適用できます。個々のデバイスには適用できません。

ブランドの作成


ブランドを作成するには、以下の操作を行います。

1. [HP Engage Console]ダッシュボードにログインします。
2. [Device Management] (デバイス管理) タブ→[Branding] (ブランディング) の順に選択します。
3. [CREATE NEW BRAND] (新しいブランドの作成) を選択します。
4. ウィンドウが開き、以下の4つのタブが表示されます。
 - [GENERAL] (全般) : ブランド名の付与、デフォルトブランドへの設定、およびロック画面メッセージの入力が行えます。
 - [ANDROID] : [Basic] (基本) または [Advanced] (詳細) ボタンを選択し、上部バーの色、壁紙、ロゴ、およびアプリアイコンをカスタマイズします。
 - [IOS] : ホーム画面やロック画面の壁紙の選択、および壁紙のプレビュー表示が行えます。
 - [WINDOWS 10] : ホーム画面やロック画面の壁紙の選択、およびロック画面の壁紙のプレビュー表示が行えます。
5. [SAVE] (保存) を選択します。

ブランディングからの発行

ブランディングから発行するには、以下の操作を行います。

1. [Device Management] (デバイス管理) を選択します。次に、[Branding] (ブランディング) を選択します。保存済みブランドの一覧が表示されます。
2. 適用するブランドの[Apply Brand] (ブランドの適用) を選択します。
3. 表示されたウィンドウで、ブランドの適用先のデバイスプロファイルを選択します。
4. [APPLY] (適用) を選択します。

 **注記** : [HP Engage Console]では、個々のデバイスのブランディングはサポートしていません。

デバイス プロファイル

[Device Profile] (デバイス プロファイル) 機能を使用すると、ポリシーをまとめることができます。

[Device Profile]機能を使用すると、デバイスに割り当てるポリシーおよび設定のグループを作成できます。デバイス プロファイルは、個々のデバイスまたはデバイスグループに適用できます。[Device Profile]機能で行った変更は、そのプロファイルが割り当てられているすべてのデバイスに自動的に適用されます。カスタム デバイス プロファイルを作成するか、または対象デバイスの OS に基づいてプリロードされている設定が含まれている[QuickStart]オプションから選択できます。

企業所有の Android デバイス用の新しいプロファイルの作成

企業所有の Android デバイス用の新しいデバイス プロファイルを作成するには、以下の操作を行います。


1. [HP Engage Console]ダッシュボードから[Device Management] (デバイス管理) にアクセスして、[Device Profiles] (デバイス プロファイル) を選択します。
2. 右上隅の[CREATE NEW PROFILE] (新しいプロファイルの作成) を選択します。
3. [Kiosk/Agent] (キオスク/エージェント) オプションを選択します。
4. プロファイルの名前と終了パスコードを入力します。[Submit] (送信) を選択すると、プロファイルクリエイタービューにリダイレクトされます。
5. [SELECT APPS] (アプリの選択) ウィンドウが表示されたら、以下のオプションから選択します。
 - [Set HP Engage Console as launcher] ([HP Engage Console]をランチャーとして設定) : お使いのデバイスのホームランチャーに代わり、カスタムのホーム画面が表示されます。
 - [Set HP Engage Console as agent] ([HP Engage Console]をエージェントとして設定) : バックグラウンドで実行され、ポリシーがサイレントに適用されます。ネイティブランチャーを使用できます。
6. デバイスで使用するアプリを選択します。
 - [Enabled] (有効) : デバイスでアプリを使用できるようになります。
 - [Visible] (表示) : ホーム画面でアプリを表示または非表示にできます。
 - [Allow Lock Task] (タスクのロックを許可) : 一定時間アプリが画面に固定され、シングルアプリモードの状態にできます。
7. [NEXT]を選択します。[SELECT BROWSER SHORTCUTS] (ブラウザーのショートカットを選択) ウィンドウが表示されます。以前にホワイトリスト化した Web サイトを選択できます。

Web サイトのホワイトリスト化の方法については、[13 ページの「Web サイトのホワイトリスト化」](#)を参照してください。

8. [NEXT]を選択して、[SELECT BRAND / APP ORDER] (ブランド/アプリの順序の選択) ウィンドウが開きます。以前に選択したブランドを適用して、有効なアプリの順序を選択できます。

ブランディングについては、[8 ページの「ブランドの作成」](#)を参照してください。

9. [NEXT]を選択します。[KIOSK/LAUNCHER SETTINGS] (キオスク/ランチャーの設定) ウィンドウが表示されたら、[HP Engage Console]がランチャーに設定されているときに該当する設定を確認できます。
 - [Single App Mode] (シングルアプリ モード) : Android タブレットまたはスマートフォンを、1つのアプリのみを実行するキオスクに切り替えることができます。
 - [Home Screen settings] (ホーム画面の設定) : [HP Engage Console]のホーム画面の動作をカスタマイズできます。
10. [NEXT]を選択します。[RESTRICTIONS] (制限) ウィンドウが表示されたら、デバイスの制御および管理をよりの確に行えるようにするためのポリシー コレクションを確認できます。
 - [Volume Settings] (ボリューム設定) : お使いのデバイスの音量属性を制御できます。
 - [Wifi Settings] (Wi-Fi 設定) : お使いのデバイスの Wi-Fi 構成を管理できます。
 - [Mobile Network] (モバイル ネットワーク) : お使いのデバイスのモバイル データ構成を管理できます。
 - [Display Settings] (ディスプレイ設定) : デバイスのディスプレイ属性を管理できます。
 - [EMM Settings] (EMM 設定) : セキュリティを強化し、EMM 管理対象デバイスの制御を可能にする追加の設定。制御されている方法でシステム設定へのアクセスを許可できます。
 - [VPN Settings] (VPN 設定) : アプリの一覧から1つのアプリを選択し、ネットワークをロックするための追加のフラグを使用して、[Always On VPN] (常時 VPN 接続) としてマークすることができます。
 - [Compliance] (コンプライアンス) : SafetyNet API を使用して、デバイスの準拠状態を確認できます。
 - [Secure Settings] (セキュリティ設定) : グローバルまたはデバイスレベルのセキュリティ設定を上書きできます。

 **注記** : これらの設定は、Samsung、Sony、および LG 製デバイスでのみ使用できます。[HP Engage Console]が EMM 管理を使用してデバイスの所有者として設定されている場合に、アスタリスクでマークされているオプションが機能します。


 - [Exchange] (送受信) : デバイス上で送受信のアカウントを構成したり、以前に作成した送受信の構成を選択したりできます。

ユーザー所有の Android デバイス向けの新しいプロファイルの作成

個人所有の Android デバイス向けの新しいプロファイルを作成するには、以下の操作を行います。

1. [Device Management] (デバイス管理) タブで、[Device Profile] (デバイス プロファイル) を選択し、[CREATE NEW PROFILE] (新しいプロファイルの作成) ボタンを選択します。
2. [Create New Profile]を選択します。
3. [Create New Profile]ダイアログ ボックスで、[Android]タブを選択します。次に、[Personal (BYOD)] (個人所有 (BYOD)) オプションを選択します。

4. プロファイルの名前を入力し、**[SUBMIT]** (送信) を選択します。**[Profile Creator]** (プロファイルクリエーター) ウィザードが起動します。デバイスプロファイルの作成は、3つのセクションに分かれています。
 - **[Select Apps]** (アプリの選択) : デバイスにインストールするアプリを選択します。
 - **[Whitelist Websites]** (ホワイトリストの Web サイト) : 以前にホワイトリスト化した Web サイトへのアクセスを有効にする場合に選択します。
 - **[Restrictions]** (制限) : セキュリティおよびアカウント管理ポリシーの管理方法を構成します。
5. セキュリティ、アカウント管理、データ共有、およびアプリ管理設定については、**[Restrictions]** タブに移動してから、**[General Settings]** (全般設定) を選択します。
6. デバイスで**[Exchange]** (送受信) アカウントをセットアップするには、**[Restrictions]** タブに移動し、**[Exchange Settings]** (送受信の設定) を選択します。
7. Wi-Fi 設定を構成するには、**[Wifi Settings]** (Wi-Fi 設定) を選択します。

 **注記 :** これにより、デバイスに Wi-Fi 構成が作成されますが、強制適用は行われません。

8. お使いの作業用アプリ向けに別のプロファイルを作成するには、**[Work Profile Password]** (作業用プロファイルのパスワード) セクションを選択します。有効にするには、**[Require Passcode]** (パスコードを要求) を選択します。
9. VPN 設定を行うには、**[Restrictions]** タブに移動し、**[VPN settings]** (VPN の設定) タブを選択します。
10. 侵害されたデバイスの準拠レベルおよび動作を設定するには、**[Compliance]** (コンプライアンス) を選択します。
11. 必要な構成オプションをすべて選択したら、**[Create Profile]** (プロファイルの作成) を選択してプロファイルのセットアップを完了します。


新しい Windows デバイス プロファイルの作成

新しい Windows デバイス プロファイルを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[Device Management]** (デバイス管理) タブで、**[Device Profile]** (デバイスプロファイル) を選択し、**[CREATE NEW PROFILE]** (新しいプロファイルの作成) ボタンを選択します。
2. **[Create New Profile]** を選択します。
3. **[Create New Profile]** ダイアログボックスで、**[Windows]** タブを選択します。次に、プロファイルの名前を入力し、**[SUBMIT]** (送信) を選択します。**[Profile Creator]** (プロファイルクリエーター) ウィザードが起動します。デバイスプロファイルの作成は、以下の4つのセクションに分かれています。
 - **[Select Apps]** (アプリケーションの選択) : アプリケーションポリシーを設定するセクションです。
 - **[Whitelist Websites]** (Web サイトのホワイトリスト化) : Google Chrome で使用する Web サイトをホワイトリスト化するセクションです。
 - **[Chrome Configurations]** (Chrome の構成) : Google Chrome 用の追加設定です。
 - **[Settings]** (設定) : カテゴリに基づいて追加設定を行うセクションです。


4. **[Select Apps]**でアプリケーション ポリシーを構成するには、アプリケーション ポリシーを選択し、**[NEXT]** (次へ) を選択します。

- **[Application Blacklisting]** (アプリケーションのブラックリスト化) : 選択された Windows アプリケーションの実行をブロックします。

 **注記 :** UWP アプリケーションおよび[Microsoft® Store] (マイクロソフトストア) からインストールしたアプリケーションのみをブロックできます。アプリケーションを選択してブロックするには、**[Device Profile]** (デバイス プロファイル) を使用します。

- **[Skip Configuring Apps]**(アプリケーション構成のスキップ): Windows デバイス用のアプリケーション ポリシーを定義しない場合は、この機能を選択します。

- **[Application Whitelisting]** (アプリケーションのホワイトリスト化) : 実行を許可するアプリケーションの一覧を選択します。


 **注記 :** UWP および Win32 ビット アプリケーションの両方をホワイトリスト化できます。

5. **[Whitelist Websites]**セクションで、Google® Chrome™ や Windows Kiosk Browser アプリケーションでの参照がユーザーに許可されている URL を構成します。

6. **[Chrome Configurations]**セクションで、Google Chrome の設定を構成します。

7. アプリケーションが常に実行するように設定して、Windows デバイスをキオスク アプリケーションモードに設定するには、**[Settings]**タブに移動し、**[Kiosk App]** (キオスク アプリケーション) を選択します。

8. ホーム画面の壁紙、ロック画面の壁紙、またはその両方を企業所有のデバイスに適用するには、**[Settings]**タブに移動し、**[Branding]** (ブランディング) を選択します。

 **注記 :** カスタムブランディングを作成するには、**[Device Management]**タブに移動し、**[Branding]** を選択してから、デバイス プロファイルに適用します。

Windows に対応したブランディングを選択できます。

9. Wi-Fi およびネットワークの設定を構成するには、**[Settings]**に移動し、**[Wifi & Network]** (Wi-Fi およびネットワーク) を選択します。

10. 必要な構成オプションをすべて選択したら、**[Create Profile]** (プロファイルの作成) を選択してプロファイルのセットアップを完了します。

デバイスグループ

[Device Group] (デバイスグループ) 機能を使用すると、デバイスを個別のグループに整理できます。

[Device Group]機能では、以下のオプションを使用できます。

- さまざまなオペレーティング システムを使用したデバイスのグループ化
- グループに属する全デバイスの再起動
- デバイス プロファイル ポリシーが確実に有効に適用されることを目的とした、グループに属する全デバイスの更新
- グループ内の全デバイスのデバイス プロファイルの設定または変更

- グループ管理者の作成および割り当て

デバイスグループの作成

デバイスグループを作成するには、ここに記載されている操作を行います。

1. **[Device Management]** (デバイス管理) タブで、**[Device Groups]** (デバイスグループ) → **[Create New]** (新規作成) の順に選択します。
2. グループの名前を入力し、**[Submit]** (送信) を選択します。新しいウィンドウが表示されます。
3. **[Select Devices]** (デバイスの選択) タブには、まだグループに属していないデバイスのみが一覧表示されます。追加するデバイスを選択してから、**[Next]** (次へ) を選択します。
4. OS の種類に基づいて適用するプロファイルを選択し、**[Next]** を選択します。デバイスプロファイルを1つも作成していない場合は、デフォルト オプションのみが表示されます。
5. **[Add Admin]** (管理者の追加) タブでは、グループ管理者を選択できます。
6. グループを作成するには、**[Create Device Group]** (デバイスグループの作成) を選択します。

デバイスグループの操作

デバイスグループ内のすべてのデバイスに対して、変更を適用したり、操作を実行したりできます。

以下のデバイスグループの操作を実行できます。

- **[Set Install Window]** (インストールウィンドウの設定): エンタープライズストアからこのデバイスグループにプッシュするアプリケーションのインストールウィンドウを設定できます。アプリケーションのインストールまたは更新は、デバイスの時刻がここに指定した時刻と一致したときに行われます。
- **[Rename Device Group]** (デバイスグループの名前変更): これを使用すると、グループの名前を変更できます。
- **[Delete the Device Group]** (デバイスグループの削除): デバイスグループを削除します。すべてのデバイスがプロファイルを保持し、ロックされています。
- **[Reboot Devices]** (デバイスの再起動): グループ内のすべてのデバイスを再起動するために使用します。
- **[Refresh Devices]** (デバイスの更新): これを使用すると、デバイスを更新して、必要なすべてのポリシーをデバイスに適用できます。
- **[Clear Browser Cache]** (ブラウザ キャッシュのクリア): これを使用すると、グループ内のすべてのデバイスのブラウザ キャッシュをクリアできます。

Web サイトのホワイトリスト化

デバイスプロファイルとグループに適用できる、ホワイトリスト化した Web サイトの一覧を作成するには、ここに記載されている操作を行います。

1. **[Device Management]** (デバイス管理) タブで、**[Whitelist Websites]** (Web サイトのホワイトリスト化) を選択します。
2. **[Whitelist A Website]** (個別 Web サイトのホワイトリスト化) ボタンを選択します。

3. **[Whitelist a Website]**（個別 Web サイトのホワイトリスト化）ウィンドウで、まず**[Details]**（詳細）タブが表示されます。Web サイトの名前と URL をここに入力します。ホーム画面にサイトを表示するかどうかを選択できます。
4. **[Next]**を選択します。
5. **[Android Settings]**（Android の設定）タブで、使用可能なオプションを選択します。
6. **[Next]**を選択します。
7. **[Apple Settings]**（Apple の設定）タブで、使用可能なオプションを選択します。
8. **[Save]**（保存）を選択して、サイトをホワイトリスト化します。

5 コンテンツ管理

[Content Management] (コンテンツ管理) 機能を使用すると、[HP Engage Console]によって管理されているデバイスにコンテンツを発行できます。

ダッシュボードへのコンテンツのアップロード

ダッシュボードにコンテンツをアップロードするには、以下の操作を行います。

1. ダッシュボードで、[Content Management] (コンテンツ管理) → [Content] (コンテンツ) の順に選択します。
2. [ADD NEW] (新規追加) → [Files] (ファイル) の順に選択します。ファイルのアップロードウィンドウが開き、個別のタブが2つ表示されます。
 - [Upload from Computer] (コンピューターからのアップロード): ファイルをここにドラッグアンドドロップするか[UPLOAD FILES] (ファイルのアップロード) を選択し、アップロードするファイルを選択します。
 - [Upload Using External Link] (外部リンクを使用したアップロード): このタブ画面の説明に沿って操作することで、外部リンクを使用してファイルをアップロードできます。


 **注記:** コンテンツをアップロードするには、Android および Windows デバイスに[FileDock]アプリケーションがインストールされている必要があります。iOS デバイスには、[HP Engage Console]アプリケーションがインストールされている必要があります。[FileDock]アプリケーションおよび[HP Engage Console]アプリケーションは、ともに[Enterprise] (エンタープライズ) / [My Apps] (マイアプリケーション) / [Recommended Apps] (推奨アプリケーション) からダウンロードできます。

プレゼンテーションの作成

プレゼンテーションを作成するには、以下の操作を行います。

1. ダッシュボードで、[Content Management] (コンテンツ管理) → [Content] (コンテンツ) の順に選択します。コンテンツがアップロードされていることを確認してください。
2. [Presentations] (プレゼンテーション) セクション → [CREATE PRESENTATION] (プレゼンテーションの作成) の順に選択します。
3. プレゼンテーションの名前を入力して、[SAVE] (保存) を選択します。プレゼンテーションクリエーターウィンドウが開き、以下のパネルが表示されます。
 - [Content] (コンテンツ) パネル: アップロードしたコンテンツがツリー形式で表示されます。ファイルを選択し、プレゼンテーションパネルに移動できます。
 - [Presentation] (プレゼンテーション) パネル: プレゼンテーションに含まれているファイル、およびプレゼンテーションに設定できる追加のプロパティが表示されます。

4. ファイルの横にある矢印をクリックして、ファイルをコンテンツパネルからプレゼンテーションパネルに移動します。サポートされていないファイルには、その横に赤い感嘆符が表示されています。
5. プレゼンテーションパネル内で選択したファイルを任意の順序でドラッグします。
6. プレゼンテーションのプロパティを選択するには、**[PROPERTIES]** (プロパティ) タブを選択します。
 - **[Enforce Landscape mode]** (ランドスケープモードの強制適用): プレゼンテーションをランドスケープモードに固定するには、このオプションを選択します。
 - **[Use As A Screensaver]** (スクリーンセーバーとして使用): プレゼンテーションをスクリーンセーバーとして使用するには、このオプションを選択します。

 **注記:** この機能は、Android デバイスでのみ使用できます。


 - **[Loop Continuously]** (連続ループ): プレゼンテーションを連続ループで再生するには、このオプションを選択します。
 - **[Choose an Interval Time]** (インターバル時間の選択): 2つのファイルを切り替えて表示する時間を設定するには、このオプションを選択します。最短時間は5秒、最長時間は1分です。
7. **[UPDATE]** (更新) を選択してプレゼンテーションを保存します。

6 Remote Cast & Control

[Remote Cast & Control]は、[HP Engage Console]に登録されているデバイスへのリモートアクセスを可能にします。これによって、デバイスの表示、制御、およびトラブルシューティングをリモートで行うことができます。

[Remote Cast]では、以下の機能がサポートされています。

- デバイス画面のキャスト：リモート デバイスの画面のミラーリングを行います。
- リモート コントロール：デバイスの画面を制御できます。

 **注記：** iOS デバイスでは使用できません。ほとんどの Android デバイスおよびすべての[HP Engage]デバイスで使用できます。

- VoIP 通話：デバイスへの音声通話を行うことができます。
- キーボードおよびクリップボードのリダイレクト：ターゲット デバイスの入力フィールドに入力できます。

Android デバイス向けの[Remote Cast & Control]の設定

Android デバイス向けの[Remote Cast & Control]を設定するには、以下の操作を行います。

1. [Enterprise]（エンタープライズ）で、[My App]（マイ アプリケーション）に移動します。
2. [Recommended Apps]（推奨アプリケーション）で、Android 向けの[Remote Cast & Control]アプリ（アプリ タイルに Android ロゴが表示されているもの）を検索します。
3. アプリのインストール先のプロファイルおよびデバイスを選択します。
4. [Publish]（発行）を選択してアプリをインストールします。
5. 対象のデバイスでダウンロードが完了したら、[Remote Cast & Control]アプリを選択して起動します。
6. 画面の説明に沿って操作し、デバイスのアプリの機能を使用する権限を与えます。

Android デバイスに対する[Remote Cast & Control]の開始

Android デバイスに対して[Remote Cast & Control]セッションを開始するには、以下の操作を行います。

1. [Remote Cast & Control]を選択して、[Remote Cast & Control]をサポートするデバイスの一覧を表示します。
2. [Remote Cast & Control]セッションを開始するデバイスを探し、[Start Session]（セッションの開始）を選択します。画面のキャスト ページには、以下のコンポーネントが表示されます。
 - [CREATE TICKET]（チケットの作成）：サービスデスク チケットを作成します。このオプションは、IT 管理ツール（ITSM）を統合している場合にのみサポートされます。

- **[Allow User to Stop Session]** (ユーザーがセッションを停止することを許可する): 有効にすると、ユーザーがセッションを終了するための停止ボタンが表示されます。
 - **[Enable Voice Call]** (音声通話を有効にする): 有効にすると、リモートキャストセッション中に VoIP 通話を使用できるようになります。
 - **[Start Session]** (セッションの開始): このボタンを選択すると、セッションが開始されます。
 - **[Start Recording]** (記録の開始): このボタンを選択すると、セッションが記録されます。
3. セッションを開始するには、**[Start Session]**を選択します。デバイスのユーザーは、Android デバイスで**[OK]**および**[Start Now]** (今すぐ開始) を選択して、リモートセッションを承認する必要があります。
 4. **[START NOW]**を選択して、リモートキャストセッションを開始します。セッション中は、以下のオプションが表示されます。
 - **[Control]** (コントロール): サポートされている場合は、画面を制御できます。
 - **[Back]** (戻る): 選択すると、戻るキーと同じ動作をします。
 - **[Home]** (ホーム): 選択すると、ホーム キーと同じ動作をします。
 - **[App Switcher/Recent App]** (アプリ切り替え/最近使用したアプリ): 選択すると、アプリ切り替えまたは最近使用したアプリ キーと同じ動作をします。
 - **[Power Off]** (電源オフ): 選択すると、電源ボタンと同じ動作をします。
 - **[Full screen]** (全画面表示): 全画面表示になります。
 - **[Snapshot]** (スナップショット): スナップショットを撮影します。
 - **[Lock/Unlock]** (ロック/ロック解除): デバイスをロックまたはロック解除します。
 - **[Stop Session]** (セッションの停止): セッションを停止します。
 - **[Start Recording]** (記録の開始): 選択すると、画面キャストセッションの記録を開始します。

Windows デバイス向けの[Remote Cast & Control]の設定

Windows デバイスに対して[Remote Cast & Control]を設定するには、以下の操作を行います。

1. **[Enterprise]** (エンタープライズ) タブで、**[My Apps]** (マイ アプリケーション) を選択します。
2. **[Recommended Apps]** (推奨されるアプリケーション) で、Windows 用のリモートキャストアプリケーション (アプリケーションのタイルに Windows ロゴが記載されているもの) を探します。
3. アプリのインストール先のプロファイルおよびデバイスを選択します。
4. **[Publish]** (発行) を選択してアプリをインストールします。
5. ターゲットデバイスでダウンロードが完了したら、**[スタート]**メニューから「Remote Cast and Control」を検索し、選択してアプリケーションを起動します。


 **注記:** ダッシュボードの[Remote Cast and Control]ページにデバイスが表示されるためには、ターゲットデバイス上で少なくとも 1 回アプリケーションを実行する必要があります。

6. [HP Engage Console]管理者がセッションを開始することを待っているというメッセージがデバイスに表示されます。

Windows デバイス向けの[Remote Cast & Control]セッションの開始

Windows デバイス向けの[Remote Cast & Control]セッションを開始するには、以下の操作を行います。

1. [Remote Cast & Control]を選択して、[Remote Cast & Control]をサポートするデバイスの一覧を表示します。
2. [Remote Cast & Control]セッションを開始するデバイスを探し、[Start Session]（セッションの開始）を選択します。画面のキャストページには、以下のコンポーネントが表示されます。
 - [Session Details]（セッションの詳細）：Windows デバイスの名前およびモデルが表示されます。
 - [Create Ticket]（チケットの作成）：サービスデスクチケットを作成します。このオプションは、IT 管理ツール（ITSM）を統合している場合にのみサポートされます。
 - [Start session]（セッションの開始）：[Remote Cast & Control]セッションの開始要求をデバイスユーザーに送信するには、このコンポーネントを選択します。
3. セッションを開始するには、[Start Session]（セッションの開始）を選択します。
4. デバイスユーザーが、セッションの開始要求を承認する必要があります。

 **注記：** デバイスユーザーが1分以内に要求を承認しない場合はセッションがタイムアウトするため、改めて要求を送信する必要があります。


5. デバイスユーザーが要求を承認すると、セッションが Edge ブラウザーで起動します。デバイスユーザーに以下のオプションを示す、ダイアログボックス表示されます。
 - [Your entire screen]（画面全体）：デバイスユーザーがこのオプションを選択した場合は、画面全体が表示されます。
 - [Application window]（アプリケーションウィンドウ）：デバイスユーザーがこのオプションを選択した場合は、開いているアプリケーションのみ表示されます。アプリケーションウィンドウが最小化すると、画面表示が消えて黒い画面になります。
 - [Microsoft Edge tab]（Microsoft Edge タブ）：デバイスユーザーがこのオプションを選択した場合は、選択されているタブのみ表示されます。
6. デバイスユーザーが選択した後、[HP Engage Console]ダッシュボードにセッションが表示されます。[Remote Cast & Control]セッションが作動中は、以下のオプションを使用できます。
 - [Full Screen]（全画面表示）：共有画面を全画面に表示するには、このオプションを選択します。
 - [Take Screenshot]（スクリーンショットの撮影）：共有画面のスクリーンショットを撮影するには、このオプションを選択します。
 - [Stop Session]（セッションの停止）：セッションを停止するには、このオプションを選択します。このオプションは、デバイスユーザーにもあります。

7 Eva Communication Suite

[Eva Communication Suite]では、さまざまな方法でデバイスユーザーと通信できます。

[Eva Communication Suite]には、以下の機能が含まれています。

- **[Messenger]** (メッセージャー) : このサービスを使用すると、ユーザーがテキストまたは音声を使用して、自分と同じデバイスグループ内の他のユーザーおよび管理者と通信できます。ユーザーは、ファイルを送受信することもできます。
- **[Phone]** (電話) : 連絡先リストと着信および発信電話を管理するには、この機能を使用します。
- **[Channel Management]** (チャンネル管理) : デバイスまたはデバイスグループによるサブスクリプションが可能な通信チャンネルの作成および管理が行えます。

 **注記 :** [Eva Communication Suite]を使用するには、デバイスに[Eva]アプリケーションがインストールされている必要があります。[Eva]アプリケーションは、**[Enterprise]** (エンタープライズ) タブの推奨アプリケーションセクションで使用できます。詳しくは、[24ページの「エンタープライズストア」](#)を参照してください。

デバイス間チャットの有効化

デバイス間チャット機能およびVoIP通話を有効にするには、以下の操作を行います。

1. [Eva Communication Suite]タブで、**[Settings]** (設定) を選択します。
2. **[Device to Device chat]** (デバイス間チャット) セクションで、有効にするスライダーを選択します。
3. **[Save Settings]** (設定の保存) を選択します。有効時は、[Eva]クライアントがインストール済みのデバイスと、そのデバイスグループ内の他のデバイスとの間でチャットが行えます。

[Eva Phone]の有効化


[Eva Phone]機能を有効にするには、以下の操作を行います。

1. [Eva Communication Suite]タブで、**[Settings]** (設定) をタップして選択します。
2. **[Eva Phone]**セクションで、有効にするスライダーを選択します。
3. **[Save Settings]** (設定の保存) を選択します。

連絡先の追加およびアップロード

[Eva Phone]のセットアップ後は、連絡先を追加またはアップロードできます。

1. [Eva Communication Suite]で、**[Phone]** (電話) を選択します。**[Contact]** (連絡先) タブが開きません。

2. 連絡先を追加するには以下の2つの方法があります。
 - **[Add Contact]** (連絡先の追加) : このオプションを使用すると、一度に1つの連絡先をアップロードします。
 - **[Upload CSV]** (CSVのアップロード) : このオプションを使用すると、複数の連絡先をCSVファイルでアップロードします。
3.  **注記** : 手順3と4は、**[Add Contact]** (連絡先の追加) オプションを使用して連絡先を追加する方法の説明です。一度に複数の連絡先をアップロードする方法については、手順5に進んでください。


4. **[Add Contact]**を選択し、連絡先の詳細を入力します。
 - **[Contact Number]** (連絡先番号) : 国コードを含む完全な連絡先番号を入力するには、このオプションを使用します。
 - **[USSD]** : USSD番号を入力するには、このオプションを使用します。
 - **[Starts With]** (先頭番号) : 一連の番号をブラックリスト化またはホワイトリスト化する場合は、このオプションを使用します。たとえば、「1234」と入力すると、その番号で始まる任意の連絡先をブラックリスト化またはホワイトリスト化できます。
4. **[Save]** (保存) を選択します。連絡先の番号がダッシュボードに表示されるようになりました。
5. 連絡先をアップロードするには、CSVファイルを正しくフォーマットする必要があります。アップロードに使用できるテンプレートを入手するには、**[Download Sample CSV]** (サンプルCSVのダウンロード) を選択します。
6. メモ帳などのテキストエディターでファイルを開きます。
7. CSVファイルには、3つの列ヘッダーがあります。[名前]、[連絡先]、および[USSD]の順に入力します。また、いくつかのサンプル番号があります。サンプル番号を削除します。ヘッダーは削除しないでください。
8. 連絡先の番号を入力し、ファイルを保存します。USSDを入力しない場合は、列に「false」と入力します。
9. **[Upload CSV]** (CSVのアップロード) を選択します。ダイアログボックスが表示されます。CSVをアップロードするには、**[Browse File]** (ファイルの参照) を選択してお使いのコンピューター上で検索するか、ダイアログボックスにファイルをドラッグアンドドロップします。

ダッシュボードからデバイスへのファイルの送信

ダッシュボードからデバイスにファイルを送信するには、以下の操作を行います。

1. [HP Engage Console]にサインインします。
2. **[EVA Communication Suite]**を選択します。**[Messenger]** (メッセージャー) を選択します。4つのタブを含むウィンドウが表示されます。**[Contacts]** (連絡先) を選択します。ウィンドウの左側には、連絡先とデバイスが一覧表示されています。ファイルを転送する連絡先またはデバイスを選択します。デバイスを選択すると、ウィンドウの右側にチャットビューが表示されます。
3. チャットビューの**[Attachment]** (添付) アイコンを選択します。
4. **[Files]** (ファイル) を選択します。

5. ファイルを参照して選択し、[Open]（開く）を選択します。画像がデバイスに送信されます。

 **注記：** ダブルチェックマークは、送信されたファイルの状態を示します。

- 灰色：ファイルが配信済みです。
- 青色：受信者がファイルを確認済みです。

デバイスからダッシュボードへのファイルの送信

デバイスからダッシュボードにファイルを送信するには、以下の操作を行います。

1. [Eva]アプリケーションを開きます。
2. ファイルを送信する連絡先を選択します。チャットビューが表示されます。
3. チャットビュー下部の添付アイコンを選択します。オプションが表示されます。[File]（ファイル）を選択します。
4. 送信するファイルを選択します。このファイルは、[Eva Messenger]のダッシュボードに送信されます。

Eva Channels

[Eva Channels]を使用すると、パブリックまたはクローズド通信チャンネルを作成できます。管理者およびユーザーは、チャンネルをサブスクライブしている、またはチャンネルを表示できる他のメンバーと通信できます。

以下の2種類のチャンネルを作成できます。

- **[Public]（パブリック）**：デバイスに[Eva]および[HP Engage Console]アプリケーションをインストールした、すべてのユーザーが使用できるチャンネルです。
- **[Close]（クローズ）**：管理者がチャンネルに追加したユーザーのみが使用できるチャンネルです。ユーザーを削除するか、または追加するには、チャンネルを作成した管理者のみが使用できます。ユーザーは、自分自身を削除または追加することはできません。

パブリックチャンネルの作成

パブリックチャンネルを作成するには、以下の操作を行います。

1. [Eva Communication Suite]タブに移動し、[Channel Management]（チャンネル管理）を選択します。
2. [Add Channel]（チャンネルの追加）を選択します。[Add Channel]ウィンドウが表示されます。
3. [Channel Name]（チャンネル名）を入力します。
4. [Choose Channel Type]（チャンネルの種類の選択）で、[Public]（パブリック）→[Submit]（送信）の順に選択します。
5. [Channel Type]（チャンネルの種類）の[Public]→[SUBMIT]（送信）の順に選択します。
6. チャンネルが作成され、デバイス上に表示されます。パブリックチャンネルに参加するには、[Join Channel]（チャンネルへの参加）を選択します。チャンネルに参加したユーザーは、チャン

ネル内の他のユーザーに対し、チャット、画像送信、ファイル送信、および音声メッセージ送信が行えます。ダッシュボードで以下の作業を実行できます。

- **[Edit]** (編集) : チャンネル名を編集できます。
 - **[Deactivate]** (無効化) : 無効になっているチャンネルが、すべてのユーザーに対して読み取り専用モードになります。無効になっているチャンネルは、再度有効にできます。
 - **[Delete]** (削除) : チャンネルを削除して、デバイスとダッシュボードから消去できます。
7. チャンネルから退出するには、チャンネル名の横にある3つの縦向きドットを選択し、チャンネル情報を選択します。新しいウィンドウが表示されます。**[Leave Channel]** (チャンネルから退出) を選択します。

クローズチャンネルの作成

クローズチャンネルを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[Eva Communication Suite]**タブに移動し、**[Channel Management]** (チャンネル管理) を選択します。
2. **[ADD CHANNEL]** (チャンネルの追加) を選択します。**[Add a Channel]** (チャンネルの追加) ウィンドウが表示されます。
3. **[Channel Name]** (チャンネル名) を入力します。
4. **[Choose Channel Type]** (チャンネルの種類を選択) で、**[Close]** (クローズ) → **[SUBMIT]** (送信) の順に選択します。ウィンドウが表示されます。
5. チャンネルの加入者として追加するデバイスおよびユーザーを選択し、**[NEXT]** (次へ) を選択します。次に、加入者として追加する管理者ユーザーを選択し、**[SAVE]** (保存) を選択します。招待されたユーザーは、チャンネル内の他のユーザーとチャットしたり、画像、ファイル、および音声メッセージを送信したりできます。

8 エンタープライズ

このセクションでは、**[Enterprise]**（エンタープライズ）タブで使用できるオプションについて説明します。

マイ アプリケーション

アプリケーションのアップロード、更新、およびデバイスへの発行には、**[Enterprise]**（エンタープライズ）タブにある**[My Apps]**（マイ アプリケーション）機能を使用します。アプリケーションは、**[HP Engage Console]**で推奨されているものや Apple® App Store からのものなど、複数のソースから発行できます。また、独自のカスタム アプリケーションをアップロードしたり、更新したりすることもできます。**[Play for Work]**アプリケーションは、現時点では**[HP Engage Console]**でサポートされていません。


エンタープライズストア

[Enterprise store]（エンタープライズストア）を使用すると、独自の他社製アプリを**[HP Engage Console]**にアップロードできます。ここでは、Android、iOS、および Windows 向けアプリケーションを**[HP Engage Console]**にアップロードする方法について説明します。

Android アプリのアップロード

Android アプリをアップロードするには、ここに記載されている操作を行います。

1. **[Enterprise]**（エンタープライズ）タブで、**[My Apps]**（マイ アプリケーション）を選択します。
2. **[Enterprise Store]**（エンタープライズストア）を選択します。
3. **[Upload Android app]**（Android アプリのアップロード）を選択します。
4. **[Upload Android app]**ウィンドウで、以下のどちらかのオプションを選択します。
 - **[Upload APK file]**（APK ファイルのアップロード）：**[Browse files]**（ファイルの参照）を選択して APK ファイルを検索します。
 - **[Link to External APK]**（外部 APK へのリンク）：入力フィールドに APK ファイルの URL をコピーして貼り付け、画面を更新します。

 **注記：** APK ファイルをデバイスにアップロードしてインストール後に更新するには、デジタル署名済みの証明書がすべての APK ファイルに必要です。**[HP Engage Console]**では、バージョン V1、または V1 と V2 の両方で署名された APK ファイルをサポートしています。ただし、V2 のみで署名された APK ファイルはサポートしていません。詳細については、オンラインで入手できる Android 開発者向けドキュメントを参照してください。

iOS アプリのアップロード

iOS アプリをアップロードするには、ここに記載されている操作を行います。

1. **[Enterprise]**（エンタープライズ）タブで、**[My Apps]**（マイ アプリケーション）を選択します。
2. **[Enterprise Store]**（エンタープライズストア）を選択します。

3. **[Upload iOS App]** (iOS アプリのアップロード) を選択します。
4. IPA ファイルを使用してアップロードするには、**[Upload Using IPA File]** (IPA ファイルを使用してアップロード) を選択します。コンピューターで IPA を検索するには、**[Browse Files]** (ファイルの参照) を選択します。

または

Plist リンクを使用してアップロードするには、**[Upload Using Plist Link]** (Plist リンクを使用してアップロード) タブを選択します。.plist ファイルをコピーして貼り付けます。

Windows アプリケーションのアップロード

Windows アプリケーションをアップロードするには、ここに記載されている操作を行います。

1. **[Enterprise]** (エンタープライズ) タブで、**[My Apps]** (マイ アプリケーション) を選択します。
2. **[Enterprise Store]** (エンタープライズストア) を選択します。
3. **[Upload Windows App]** (Windows アプリケーションのアップロード) を選択します。
4. **[Basic Details]** (基本詳細) タブが表示されたら、画面で要求された情報を入力します。下にスクロールして、証明書とアプリケーションサイズの要件を確認します。
5. **[Next]** (次へ) を選択して、**[App Bundle]** (アプリケーションバンドル) タブに移動します。
6. **[Upload file]** (ファイルのアップロード) を選択して、APPX または MSIX バンドルをコンピューターからアップロードします。

または

[Provide URL] (URL を指定) を選択して、.appxbundle または.msixbundle ファイルへのリンクをコピーして貼り付けます。

7. **[Choose File]** (ファイルの選択) ボタンをクリックして、.cer 証明書ファイルをアップロードします。
8. **[Save]** (保存) を選択して、アップロードを終了します。

推奨アプリケーション

HP では、[HP Engage Console]の機能を拡張できる、このセクションに記載のアプリケーションを推奨しています。

表 8-1 推奨アプリケーション

アプリケーション	説明	OS との互換性
Bluetooth Manager	このアプリケーションを使用すると、キオスク モード時にユーザーが Bluetooth を使用して、ファイルを送受信できます	Android
Call Assist	このアプリケーションを使用すると、キオスク モード時にユーザーが通知パネルを使用して、デバイスへの着信電話の確認と終了が行えます	Android
Eva Eva Messenger	このアプリケーションを使用すると、ユーザーがテキストまたは音声を使用して、自分と同じデバイスグループ内の他のユーザーおよび管理者と通信できます。また、このアプリケーションは、ユーザーがファイルを送受信できるようにします。詳しくは、 20 ページの「Eva Communication Suite」 を参照してください	Android および iOS

表 8-1 推奨アプリケーション (続き)

アプリケーション	説明	OS との互換性
FileDock	このアプリケーションを使用すると、ダッシュボードにコンテンツをアップロードしてから、ユーザー デバイスに発行できます。詳しくは、 15 ページの「コンテンツ管理」 を参照してください	Android、iOS、および Windows
HP Engage Console	[HP Engage Console]をデバイスにインストールすると、ダッシュボードから[HP Engage Console]を更新できるようになります	Android
Mobilock LG Guard	このアプリケーションは、[HP Engage Console] に登録されている LG デバイスのセキュリティを強化します。この機能を有効にするには、ダッシュボードからデバイスに[LG Guard APK]を発行してから、デバイス上で手動で有効にする必要があります	Android
Remote Cast & Control	このアプリケーションを使用すると、リモートでデバイスを表示および管理できます。詳しくは、 17 ページの「Remote Cast & Control」 を参照してください	Android および Windows
WingMan	このアプリケーションを使用すると、選択されている Lenovo デバイスの[Remote Cast & Control]機能を有効にできます	Android
ProSurf - Kiosk Browser	このアプリケーションを使用すると、iOS ユーザー向けにカスタマイズおよびセキュリティ保護されたブラウザを作成できます	iOS
Brew Survey	このアプリケーションを使用して、スマートフォンやタブレットを使用して、カスタマイズしたアンケートを作成し、顧客からフィードバックを収集できます	Android
Brew Survey - Offline	このアプリケーションを使用すると、オフライン アンケートを作成できます	iOS

パスワードポリシーの作成

デバイスユーザー用のパスワードポリシーを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[Enterprise]** (エンタープライズ) を選択します。次に、**[Passcode Policy]** (パスコードポリシー) を選択します。
2. ポリシーを作成する OS のタブを選択します。
3. **[Require Password]** (パスワードを要求) を選択します。**[Password Type]** (パスワードの種類) のポリシーおよび設定を構成します。ここに記載されているオプションは、ポリシーを作成する対象の OS によって異なります。
 - **[Select Password Type]** (パスワードの種類を選択) : ドロップダウンメニューから使用可能なオプションを選択します。
 - **[Minimum Password Length]** (最小パスワード長) : パスワードの最小の長さを選択します。
 - **[Enforce Complex Password]** (複雑なパスワードの強制適用) : 複雑なパスワードを有効にする場合に選択します。
 - **[Minimum number of symbols]** (最小記号数) : パスワードに最低限含める記号の数を選ぶ場合に選択します。
 - **[Minimum number of lowercase characters]** (最小小文字数) : パスワードに最低限含める小文字の数を選ぶ場合に選択します。

- **[Minimum number of alphabets]** (最小アルファベット数): パスワードに最低限含めるアルファベットの数を選ぶ場合に選択します。
 - **[Minimum number of uppercase characters]** (最小大文字数): パスワードに最低限含める大文字の数を選ぶ場合に選択します。
 - **[Minimum number of digits]** (最小数字数): パスワードの最小数字数を選ぶ場合に選択します。
4. **[Password Management Settings]** (パスワード管理設定) を構成します。
- **[Password Expiry Period]** (パスワードの有効期限): ユーザーによるパスワード変更が必要な頻度を選択します。
 - **[Maximum Password History List]** (パスワードの最大履歴一覧): ユーザーが新しいパスワードの設定時に使用できない、以前に使用済みのパスワードの総数を選択します。
 - **[Maximum Failed Attempts to Factory Reset]** (工場出荷時設定の復元までに失敗できる最大試行回数): 工場出荷時設定の復元までに失敗できる、ログイン試行回数を選択します。
 - **[Set Idle time for Auto Lock (in minutes)]** (自動ロック待機時間の設定 (分)): デバイスが自動ロックされるまでに経過する時間を選択します。
 - **[Maximum Grace Period for Device Lock]** (デバイスロックの最大猶予時間): デバイスがロックされるまでに、ユーザーがパスワードを入力しないでデバイスを使用できる時間を選択します。このオプションは、iOS デバイスでのみ使用できます。
5. **[SAVE]** (保存) を選択します。

パスワードポリシーの削除

パスワードポリシーを削除するには、以下の操作を行います。

1. **[Enterprise]** (エンタープライズ) タブで、**[Passcode Policy]** (パスコードポリシー) を選択します。
2. パスワードポリシーを削除する OS のタブを選択します。
3. **[REMOVE]** (削除) を選択します。**[Remove Password policy]** (パスワードポリシーの削除) ダイアログボックスが表示されます。
4. ポリシーを削除する**[Device Profiles]** (デバイスプロファイル) タブまたは**[Devices]** (デバイス) タブを選択します。**[HP Engage Console]**はパスワードの削除を試み、以後デバイスでパスワードが必要とされることはありません。

セキュリティ インシデント

[Security Incidents] (セキュリティ インシデント) 機能は、デバイスのロック解除試行が失敗するたびに、ログ エントリを作成する機能です。試行失敗エントリは、デバイスのユーザーが**[HP Engage Console]**を終了しようとして、誤ったパスコードを3回連続して入力すると作成されます。この機能は、Android デバイスでのみ使用できます。

セキュリティ設定

このオプションを使用すると、KNOX 互換の Samsung デバイスと、OS バージョン 5.0 以降の Sony および LG デバイスのセキュリティ機能を制御できます。

9 ユーティリティ

このセクションでは、[Utilities] (ユーティリティ) タブで使用できるオプションについて説明します。

APN 設定

携帯電話データ (SIM カード) を使用してデバイスをインターネットに接続させる、アクセスポイントの名前 (APN) の設定は、携帯電話通信事業者が提供します。APN 設定では、事業者から提供されたカスタム APN 設定を入力して、企業所有のデバイス、および企業所有の SIM カードを使用するデバイス上の携帯電話データの使用を制限できます。APN 設定によっては、企業所有のデバイスによる直接アクセスが認められており、VPN は必要ありません。

非アクティブ状態のデバイスのナッジング

アイドルまたは非アクティブ状態のデバイスを再度有効化できます。非アクティブ状態のデバイスをナッジングするには、以下の操作を行います。

1. [Utilities] (ユーティリティ) を選択します。次に、[Nudge Inactive Devices] (非アクティブ状態のデバイスのナッジング) を選択します。非アクティブ状態のデバイスの一覧が表示されます。
2. お使いのデバイスを選択し、[Nudge] (ナッジング) を選択します。

ブロードキャストメッセージ

[Broadcast Messages] (ブロードキャストメッセージ) を使用すると、任意のデバイスに直接メッセージを送信できます。


1. [Utilities] (ユーティリティ) タブで、[Broadcast Messages] (ブロードキャストメッセージ) を選択します。
2. [Create New Message] (新しいメッセージの作成) を選択します。
3. 新しいウィンドウが表示されたら、送信者の名前とメッセージを入力してから、[Next] (次へ) を選択します。
4. 登録されているすべてのデバイスおよびデバイスグループが、新しいウィンドウに表示されません。デバイスまたはデバイスグループを選択し、[Send Message] (メッセージの送信) を選択して、選択したデバイスまたはデバイスグループにメッセージを送信します。

デバイスへのアラーム送信

デバイスにアラームを送信するには、以下の操作を行います。

1. [Utilities] (ユーティリティ) を選択します。[Buzz Devices] (デバイスへのアラーム送信) を選択します。
2. アラームを送信したいデバイスを選択します。[Buzz] (アラーム送信) を選択します。確認のメッセージが表示されます。

3. [OK]を選択します。デバイスのアラーム音が鳴り、デバイスで他の操作をするまでアラームが表示されたままになります。

 **注記：** デバイスへのアラーム送信機能は、すでにアクティブになっているデバイスに対して動作します。

デバイスへの Wi-Fi 設定の発行

Wi-Fi 設定機能を使用すると、登録済みのデバイスに Wi-Fi 構成を発行できます。

1. [Utilities] (ユーティリティ) タブで、[Wifi settings] (Wi-Fi 設定) を選択します。
2. [Create New] (新規作成) を選択して、[Basic] (基本) を選択します。
3. 新しいウィンドウが開いたら、以下の情報を入力します。
 - [Name] (名前) : 構成を識別するための名前を入力します。
 - [SSID] : Wi-Fi ネットワークを識別するための名前を入力します。
 - [Security Type] (セキュリティの種類) : ドロップダウン メニューからオプションを選択します。
 - [Password] (パスワード) : Wi-Fi ネットワークにアクセスするために入力する必要があるパスワードを作成します。
4. [Submit] (送信) を選択して、構成を作成します。
5. デバイスに構成を発行するには、Wi-Fi 構成名の右にある矢印アイコンを選択します。次に、デバイスおよびデバイスのプロフィールを選択します。

ダッシュボードからの Android デバイスのロックおよびロック解除

ダッシュボードから Android デバイスのロックまたはロック解除を行うには、以下の操作を行います。

1. [Utilities] (ユーティリティ) タブで、[Lock Unlock Devices] (デバイスのロックとロック解除) を選択します。
2. 登録済みデバイスの一覧から、ロックまたはロック解除を行うデバイスを選択します。これで、デバイスの現在の状態に応じて [Lock] (ロック) または [Unlock] (ロック解除) ボタンを選択できます。

デバイスがロックされている場合は、[Unlock] ボタンを選択できます。デバイスのロックが解除されている場合は、[Lock] ボタンを選択できます。デバイスが非アクティブ状態の場合は、[Lock] と [Unlock] の両オプションを使用できます。

10 Android ユーティリティ

[Android Utilities] (Android ユーティリティ) タブでは、Android デバイスのさまざまな設定の管理および作成が行えます。

グローバル設定

[Global Settings] (グローバル設定) 機能は、**[Android Utilities]** (Android ユーティリティ) タブにあります。この機能を使用すると、デバイス プロファイルを持たない Android デバイスに対し、アプリの通知、パスワード、およびその他のオプションを設定できます。

この一覧に表示されている設定を行うことができます。

- **[Enable/Disable app notifications]** (アプリの通知の有効化/無効化): デバイスでのアプリの通知を有効または無効にします。有効になっている場合は、通知のあるアプリに小さなアイコンが表示されます。
- **[Play Sound for Incoming Notifications]** (通知着信音の再生): アプリの通知が有効になっている場合は、このオプションを使用して、通知の種類ごとに再生音を割り当てられます。
- **[Lock Screen]** (ロック画面): このオプションを使用して、デバイスでの[HP Engage Console]ロック画面を有効または無効にします。このオプションは初期設定で有効になっています。
- **[Capture IP Address]** (IP アドレスの取り込み): デバイスの完全な IP アドレスを取り込むには、このオプションを有効にします。この機能を有効にすると、**[Devices]** (デバイス) タブで IP アドレスを確認できます。
- **[Password Protect Safe Mode]** (パスワードによる保護でのセーフモード): セーフモードでのデバイスの起動時に、ユーザーに必ずパスワードを入力させるには、このオプションを有効にします。このようにセキュリティにレイヤーを追加することで、ユーザーが[HP Engage Console]をアンインストールできなくなります。画面の説明に沿って操作し、**[I Agree]** (同意します) を選択して有効にします。
- **[Internet Connectivity Indicator]** (インターネット接続インジケーター): インターネットに接続されていない場合に通知がデバイスに表示されるように、このオプションを有効にします。
- **[Show OS Upgrade Menu Option]** (OS アップグレードメニュー オプションの表示): このオプションを使用すると、ユーザーがデバイスの OS をアップグレードできます。
- **[Password Protect HP Engage Console Upgrade]** (パスワードによる保護での[HP Engage Console]のアップグレード): 有効にすると、[HP Engage Console]がシングルアプリ モードで作動しているときにユーザーが[HP Engage Console]アプリケーションをアップグレードしようとした場合に、パスワードの入力が求められます。
- **[Access Root Privileges]** (ルート権限へのアクセス): ルート化デバイスのルート権限へのアクセスを[HP Engage Console]に許可するには、このオプションを有効にします。
- **[Auto-Publish Whitelist Websites]** (ホワイトリスト Web サイトの自動発行): プロファイルが適用されていないデバイスに、ホワイトリスト化した Web サイトを自動的に発行するには、このオプションを有効にします。

アプリデータのクリア

アプリデータをクリアするには、以下の操作を行います。

1. **[Android Utilities]** (Android ユーティリティ) → **[Clear App Data]** (アプリデータのクリア) の順に選択します。
2. **[Devices / Device Groups]** (デバイス/デバイスグループ) タブ → **[Next]** (次へ) の順に選択します。
3. **[Select Apps]** (アプリの選択) タブで、クリアするデータを含むアプリを選択します。

11 電子メールユーティリティ

[Email Utilities] (電子メールユーティリティ) タブを使用すると、[HP Engage Console]によって管理されているデバイスの電子メールの送受信設定を作成できます。

電子メールの送受信設定の作成

このセクションでは、Android デバイス向けの電子メールの送受信設定の作成方法について説明します。

1. [Email Utilities] (電子メールユーティリティ) タブで、[Exchange Settings] (送受信の設定) を選択します。
2. [Add New] (新規追加) を選択します。[New Exchange Settings] (新しい送受信の設定) ウィンドウが表示されます。
3. [Basics] (基本) タブで、必要な設定を行ってから、[Next] (次へ) を選択します。
4. [Advanced] (詳細) タブで、電子メール同期設定 (任意) などの追加設定を行います。
5. [Save] (保存) を選択します。設定内容が、[Exchange ActiveSync Settings] (送受信 ActiveSync の設定) 一覧に表示されます。

電子メールの送受信構成の発行

このセクションでは、電子メールの送受信構成をデバイスに発行する方法を説明します。

1. [Email Utilities] (電子メールユーティリティ) タブで、[Exchange Settings] (送受信の設定) を選択します。
2. 以前に作成した構成の一覧が表示されます。必要な構成を探します。
3. [Action] (操作) 列にある発行アイコンを選択します。新しいウィンドウが開き、デバイスのプロファイルが一覧に表示されます。
4. 電子メールの送受信構成を適用するプロファイルのチェックボックスを選択し、[Publish] (発行) を選択します。
5. デバイスプロファイル内のデバイスでは、選択されている構成が Gmail クライアントに設定されます。デバイスで Gmail クライアントを開いたユーザーは、電子メールを同期するためにパスワードを入力するように求められます。

12 ワークフロー

[Workflows]（ワークフロー）機能を使用すると、繰り返し実行するタスクのスケジュール設定およびタスク実行時に行われる動作の割り当てが行えます。スケジュールされたタスクは、スクリプトと同じように動作します。スケジュールされたタスクについての詳しいレポートが生成されます。

ワークフローには、主に次の2種類があります。

- **スケジュールされたタスク**：これらのタスクは、デバイスに発行されているアプリで動作したり、デバイスの状態を変更したりします。タスクがスケジュールされた時刻にデバイスがオンラインになっている必要があります。スケジュールされたタスクは、ダッシュボードで選択されているタイムゾーンに基づきます。
- **コンプライアンスタスク**：これらのタスクは、デバイスのデータおよび基準値に基づきます。たとえば、バッテリー使用量といった特定の基準値が上限に達した場合に、電子メール警告をデバイスユーザーに送信することができます。

新しいワークフローの作成


新しいワークフローを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[Reports and Workflow]**（レポートおよびワークフロー）タブに移動します。
2. **[Workflows]**（ワークフロー）を選択します。
3. **[Create Flow]**（フローの作成）を選択します。
4. OS オプションを選択するか、**[Global]**（グローバル）を選択して、OSの種類に依存しないワークフロー オプションを使用します。

デバイスレポートのワークフローの作成

選択したデバイスのプロパティに関するレポートを自動的に電子メールで送信するワークフローを作成するには、ここに記載されている操作を行います。

1. **[Reports & Workflows]**（レポートおよびワークフロー）で、**[Create New]**（新規作成）を選択します。**[Create a Flow]**（フローの作成）ウィンドウが表示されます。
2. **[Global]**（グローバル）タブ→**[Device Reports]**（デバイスレポート）の順に選択します。
3. 以下の情報を入力します。
 - **[Name]**（名前）：ワークフローを識別するための名前を作成します。
 - **[Select Devices/Groups]**（デバイス/グループの選択）：このワークフローをすべてのデバイスで使用するか、指定したデバイスに対してのみ使用するかを選択します。

 **注記：** すべてのデバイスまたはデバイスグループに対してワークフローは1つのみ作成できます。

- **[Select Device Properties]** (デバイス プロパティの選択) : レポートに含めるプロパティを選択します。
 - **[Email Settings]** (電子メールの設定) : レポートを受信する電子メールアドレスを選択します。
 - **[Time & Timezone]** (時間およびタイムゾーン) : レポートが送信される時間およびタイムゾーンを選択します。
 - **[Frequency]** (頻度) : デバイス レポートの送信頻度を選択します。
4. **[Save]** (保存) を選択して、ワークフローを作成します。

既存のワークフローの管理

既存のワークフローを管理するには、以下の操作を行います。

1. **[Reports & Workflow]** (レポート & ワークフロー) タブに移動します。
2. ワークフローの一覧で、目的のワークフローを探します。
3. ワークフローを編集するには、**[Action]** (操作) タブを展開して、**[Edit]** (編集) ボタンを選択します。